



栃木県の農業農村整備

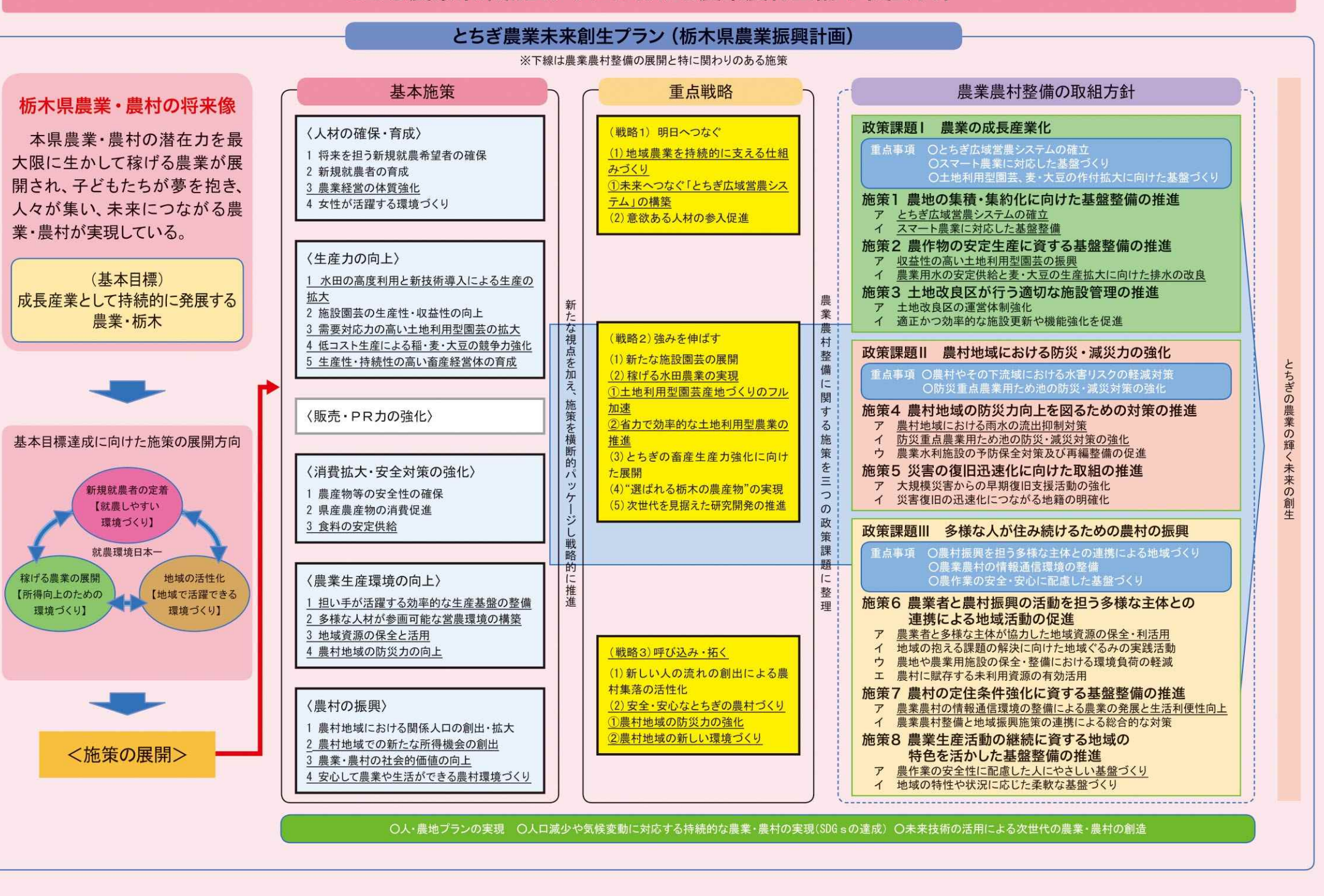
2021



栃木県の概要



とちぎ農業未来創生プランにおける農業農村整備の取組方針



栃木県農政部組織図

農政部 農政の企画・調整・広域など部門の対応と、とちぎ農業未来創生プランの推進、農産物の販売・流通、農産物の生産・加工・流通の推進、とちぎ農業未来創生プランの推進、とちぎ農業未来創生プランの推進、とちぎ農業未来創生プランの推進	農政課 農政の企画・調整・広域など部門の対応と、とちぎ農業未来創生プランの推進、農産物の販売・流通、農産物の生産・加工・流通の推進、とちぎ農業未来創生プランの推進、とちぎ農業未来創生プランの推進	農業振興課 農政の企画・調整・広域など部門の対応と、とちぎ農業未来創生プランの推進、農産物の販売・流通、農産物の生産・加工・流通の推進、とちぎ農業未来創生プランの推進、とちぎ農業未来創生プランの推進	経済流通課 農産物の販売・流通、農産物の生産・加工・流通の推進、とちぎ農業未来創生プランの推進、とちぎ農業未来創生プランの推進	経営技術課 農産物の生産・加工・流通の推進、とちぎ農業未来創生プランの推進、とちぎ農業未来創生プランの推進	生産振興課 農産物の生産・加工・流通の推進、とちぎ農業未来創生プランの推進、とちぎ農業未来創生プランの推進	畜産振興課 農産物の生産・加工・流通の推進、とちぎ農業未来創生プランの推進、とちぎ農業未来創生プランの推進	農地整備課 農産物の生産・加工・流通の推進、とちぎ農業未来創生プランの推進、とちぎ農業未来創生プランの推進
---	---	---	---	---	---	---	---

農業の成長産業化

重点事項
○とちぎ広域農業システムの確立
○スマート農業に対応した生産基盤づくり
○土地活用型園芸、麦、大豆生産拡大に向けた基盤整備づくり
「農業の成長産業化」を目指す重点事項を実現するため、3つの施策に取り組みます。

取組内容

施策1 農地の集積・集約化に向けた基盤整備の推進
地域農業を持続的に支える仕組みづくり
人・農地プランの実現化
農地プランの実行
農地プランの実現化
農地プランの実行

施策2 農作物の安定生産に資する基盤整備の推進
農作物の安定生産に資する基盤整備の推進

施策3 土地改良区が行う適切な施設管理の推進
土地改良区が行う適切な施設管理の推進

農村地域における防災・減災力の強化

重点事項
○農村やその下流域における水害リスクの軽減対策(雨水流出抑制対策)
○防災重点農業用ため池の防災・減災対策の強化
「農村地域における防災・減災力の強化」を目指す重点事項を実現するため、2つの施策に取り組みます。

取組内容

施策4 農村地域の防災力向上を図るための対策の推進
農村地域における雨水流出抑制対策
農作物の安定生産に資する基盤整備の推進

施策5 災害の復旧迅速化に向けた取組の推進
災害の復旧迅速化に向けた取組の推進

多様な人が住み続けるための農村の振興

重点事項
○農村振興を担う多様な主体と連携した地域づくり
○農業農村の情報発信・宣伝の強化
○農作物の安全・安心に配慮した生産基盤づくり

取組内容

施策6 農業者と農村振興の活動を担う多様な主体との連携による地域活動の促進
農業者と農村振興の活動を担う多様な主体との連携による地域活動の促進

施策7 農村地域の防災力向上を図るための対策の推進
農村地域の防災力向上を図るための対策の推進

施策8 農業者と農村振興の活動を担う多様な主体との連携による地域活動の促進
農業者と農村振興の活動を担う多様な主体との連携による地域活動の促進

水土里を守る土地改良区の取組

重点事項
○農村振興を担う多様な主体と連携した地域づくり
○農業農村の情報発信・宣伝の強化
○農作物の安全・安心に配慮した生産基盤づくり

取組内容

施策9 農業者と農村振興の活動を担う多様な主体との連携による地域活動の促進
農業者と農村振興の活動を担う多様な主体との連携による地域活動の促進

施策10 農業者と農村振興の活動を担う多様な主体との連携による地域活動の促進
農業者と農村振興の活動を担う多様な主体との連携による地域活動の促進

競争力の高い農業経営の実現に向けた基盤整備 (農地整備事業)

(1) 現状課題
水田整備面積と整備率の推移
水田整備面積と整備率の推移

(2) 対策
農業者の減少・高齢化が進む中、農業を取り巻く情勢が厳しさを増す中、本県農業を持続的に発展させ、次の世代に継承していくため、省力化・低コスト化に加え、高収益作物への転換を可能にする生産基盤の整備を進めます。

(3) 効果
大型機械やスマート農業機器の能力発揮
農作業の大規模効率化
水田を活用した農地野菜の生産拡大

農業・農村の強靭化に向けた防災・減災対策 (農村地域防災減災事業)

(1) 現状課題
令和元年東日本台風(R1.10月)では、県内全域の農地や農業施設が被害を受け、災害復旧作業に取り組みました。比較的大きな被害を受けた農地が、近年は災害が激甚化・頻発化により、大きな被害が発生しています。

(2) 対策
農業用河川(河川)への被害
農業用河川(河川)への被害

(3) 効果
農業用河川(河川)への被害
農業用河川(河川)への被害

生産基盤整備と生活環境整備を一体的に行う農村づくり (総合整備事業)

(1) 現状課題
農村地域は、食料供給基地であると同時に、様々な多面的機能を有しています。これを維持するためには、生産基盤の整備はもとより、そこに暮らす人々の生活環境の整備を一体的に行う必要があります。

(2) 対策
中山間地域等における農業生産と生活環境の整備を一体的に推進し、農業の生産条件等が不利な中山間地域において、農業の振興と定住の促進を図ります。

(3) 効果
中山間地域等における農業生産と生活環境の整備を一体的に推進し、農業の生産条件等が不利な中山間地域において、農業の振興と定住の促進を図ります。

農村地域を活性化させるための取組

1 農村の魅力発信
「とちぎの農村の魅力」を発信する
「とちぎの農村の魅力」を発信する

2 農村地域の活力増大
多様な主体の参画による協働活動や地域活動の展開
多様な主体の参画による協働活動や地域活動の展開

3 日本型直接支払交付金の4つの効果(主に多面的機能支払の活動の例)
多面的機能支払による地域活性化の促進
多面的機能支払による地域活性化の促進